



「2025年3月ダイヤ改正について」団体交渉実施！～その⑤～

【水戸統括センター】

③水戸統括センター(車掌)202行路における改札業務について、列車遅延時等の異常時における対応を明らかにすること。また、改札業務と車掌業務の切り替えが出来るようにすること。

組合：水戸統括センター車掌の水戸駅改札での見習いの現状について明らかにすること。

会社：営業統括センター発足後、一部社員が水戸駅作業ダイヤ水2Dの見習いを開始、昨年統括センター化で全ての車掌が改札業務に従事してきた。融合と連携が進んだため、水戸統括センター箇所体制の一般泊まりを1削減し、車掌行路内に改札業務を行うこととした。

組合：お客さま対応で921Dに乗務出来ない場合や列車遅延等により922D後の改札業務について、また202行路で突発が発生した場合の対応を明らかにすること。

会社：他の社員がカバーする等、箇所総体で対応する考えである。

組合：乗務員が安全に乗務に集中できる体制を構築すること。

会社：これまでも駅業務等の後に乗務する等を実施してきた。引き続き、必要な教育・訓練を実施し、安全を確保する考えである。

【いわき統括センター】

①いわき統括センター(車掌)の常磐線特急乗務区間をいわき駅～原ノ町駅間からいわき駅～仙台駅間に変更する理由を明らかにすること。また、必要な教育・訓練は事前に行うこと。

確認事項 必要な教育・訓練は事前に行う。

組合：乗務区間を見直す理由を明らかにすること。

会社：現行、原ノ町～仙台間は原ノ町統括センターのみ乗務している。異常時等を含め、柔軟に対応するため、いわき統括センターも乗務することとした。

組合：新地駅でホームが無い箇所でのドア開扉など、教育・訓練は事前に行うこと。

会社：1月から教育を実施し、普通列車や特急列車に乗務して各設備の状況を確認している。また、新地駅での事象は指導担当から教育を行っている。

②いわき統括センター(車掌)301行路、302行路及び305行路の駅業務等の業務内容を明らかにすること。また、必要な教育・訓練は事前に行うこと。

確認事項 駅業務等の業務内容について、出勤時に示すこと。

組合：駅業務などの内容を明らかにすること。

会社：305行路は乗務員職場の入出金機の締切業務を行う考えである。301行路と302行路は上長の指示のもといわき駅での案内業務、無人駅の巡回、乗務員職場の環境整備や内勤補助等を行う。詳細は検討中である。

組合：駅業務等の指示は出勤時に示すこと。

会社：本人の心の準備もあるため、出勤時に示すのが望ましいと考える。

【水郡線統括センター】

①袋田駅に簡易Suica改札機を導入すること。

組合：袋田駅での精算実績を明らかにすること。

会社：ゴールデンウィークや紅葉の時期に袋田駅で特別改札を実施した。

組合：訪日外国人旅行者や首都圏よりSuicaで利用し観光する旅客が増加し、乗務員より苦勞している意見が出ている。袋田駅に簡易Suica改札機を導入すること。

会社：現時点で簡易Suicaを導入する計画はなく、現行で理解されたい。観光シーズンには常磐線特急列車において車内で精算する旨の車内放送を実施し、水戸駅では足元の案内サインも設置している。

組合：簡易Suicaを設置出来ない理由を明らかにすること。

会社：水戸支社では以前から本社に要望している。路線の全駅にSuicaを導入している駅では安易に設置できるが、水郡線のSuica導入駅は限られており、通信機器で相当費用が掛かる。

組合：本来は水郡線全駅にSuicaを導入していきたいが、観光需要の多い袋田駅だけでもSuicaを導入してほしいと乗務員から要望を受けている。現金を所持していない旅客もいることから、増収や運賃ほ脱対策のために簡易Suica改札機導入を検討すること。

会社：今後も本社に上申していく。また、統括センター総体でサービス向上に努めていく考えである。